



The R&A
St Andrews, Fife
Scotland KY16 9JD

Tel: +44 (0) 1334 460000
Fax: +44 (0) 1334 460152

www.randa.org
www.opengolf.com

2015年5月11日

クラブ製造業者宛

ゴルフボールテスト機器の変更

用具の規則制定過程の一環として、R&AとUSGAはテスト機器の変更に導くかもしれない研究を始めるときには製造業者に告知することと、製造業者がコメントを提供し、共同作業での情報を共有することでその過程に貢献するように勧めることを公約しています（2010年バンクーバー）。

R&AとUSGAが2つの重要なボールテスト機器：インドアテストレンジ（ITR）と初速テスト（IV）を詳しく調べるための研究に着手していることをお知らせするためにこの文書を書いています。そうした機器はかなり長い期間にわたって使用されてきており、機器を更新することは正当な理由を持つと信じています。

インドアテストレンジ

1990年代中期に導入されたインドアテストレンジは、R&AとUSGAがゴルフボールの標準総合距離を正確に、再現性をもって、時宜に即して測定することを可能とするための重要なツールでした。適合性のテストに加えて、ITRはゴルフボールに関連する幅広い研究のための重要なツールです。

ニュージャージー、ファーヒルズのUSGAテストセンターに備えられている現行のITRは、ゴルフ規則付属規則IIIの標準総合距離と対称性の制限の適合性の決定という点において、ゴルフボールの空力性能を評価するための適切な技術を用いています。しかしながら、物理的な制約条件のせいで、ゴルフボールの空力性能に関連するその他の研究プロジェクトについては適切なものとはいえません。

R&AとUSGAは立体写真測定に基づく新しい計測技術を研究しています。USGAはこの新しい測定システムを現行の弾道スクリーン機器と並行して設置するつもりであり、それは2015年の夏までに行う予定です。その意図としては、両システムを同時に稼働させ、現行のシステムと比較した場合のこの新しいシステムの正確性と一貫性を評価することです。広範囲に及ぶ評価期間の最後に、この新しい技術が適切と証明された場合、ゴルフボールの規則への適合性を決定する目的のためにその新しい計測技術を採用することについての判断が下されるでしょう。

R&Aもこのプロジェクトに参加しており、良好な評価を待ってからUSGAの新しいテスト施設にあるものと同じシステムを設置する予定です。

初速テスト (IV)

ゴルフボールの初速 (IV) の評価は現在イリノイツールワークス (ITW) が製作した機器を用いて測定されています。この機器は 1960 年代に初めて使用されました。この機器には、一定のインパクト速度でボールを打ち、その結果として生じるボール速度を計測するための回転する大きなフライホイール (弾み車) を組み込んでいます。この装置はその耐用年数にわたってとても再現性の高いボール速度測定を提供してきました。しかしながら、それはかなりのメンテナンスや監視が必要な複雑な機械です。さらに、ゴルフボール製造業者が容易に入手したり、複製できる機器ではありません。

2012 年に R&A と USGA は、かなりの確実性をもって ITW 機器による結果を再現することができる、無限質量と接触時間計測に対しての標準的な反発係数テストを用いた別の測定方法について説明した文書を発表しました。この方法についてよりよく理解するためのこの分野における取り組みは続けられ、現在は別のインパクトテストを採用することの影響や問題点について究明するまで研究を拡大するつもりです。その研究によってテストとテスト機器の両方を単純化する効果を持つことを目的としています。それによって製造業者はテスト結果をより容易に再現することができるようになるというさらなる恩恵ももたらします。R&A と USGA は (現在は初速テストによって定量化されている) ゴルフボールの活性の制限を維持する必要があることについて引き続き確信しているということを強調しておきます。IV 標準を廃止することはこのプロジェクトの範疇ではありませんが、テストが行われる方法の修正につながるでしょう。

IV テストについての研究についての予定表はありません。しかしながら、R&A と USGA は重要な発見がなされた場合には最新情報を提供することを公約しています。

コメントがある場合は R&A の Dr Steve Otto (steveotto@randa.org) までご連絡ください。